

科目名		課題研究(修士論文作成)			担当教員名	飯干 泰彦、石松 一真、今本 尚子、 宇田 淳、大石 雅子、岡 耕平、 榊原 修平、目 篤、清水 史恵、 戸田 満秋、南部 雅幸、萩原 邦子、 平河 勝美、別所 一彦、水本 一弘、 和佐 勝史、和中 明生、石原 啓之
該当DP	1,2,3	単位数	8単位	特別演習	配当年次	2年次・第4セメスター
曜日・時限					教室	
授業概要						
主指導教員、副指導教員の指導のもと、修士学位論文を作成し、その成果を公聴会で発表する。						
到達目標						
1) 以下の項目に従って、修士学位論文を作成できる。 ・「序論」では、文献を適切に引用しながら、論文の背景、意義、目的を説明できる。 ・「方法」では、研究対象や方法を具体的かつ簡潔にまとめることができる。 ・「結果」では、収集・分析した結果を図表にまとめ、説明できる。 ・「考察」では、文献と比較しながら、論文の意義を説明できる。 ・以上の内容を、「要旨」に簡潔にまとめることができる。 2) 研究成果を公聴会で発表し、質疑応答ができる。 3) 研究倫理に従って、学会発表や論文作成ができる。 4) 修士学位論文作成過程において修得した知見や研究倫理を今後のキャリアに活用できる。						
※ 本科目は、ディプロマ・ポリシーにおけるDP1、DP2、DP3の全ての到達を目標とする。						
回	日程	見出し	内 容			実践的な 授業方法
中間報告会終了後もデータの収集・分析を進め、得られた結果を図表を使いながら簡潔にまとめる。さらに、その結果を過去の文献と比較することで論文の意義を考察する。特別演習の成果とこれらの結果・考察をもとに学術論文を作成する。同時に、公聴会に向けて研究成果をスライド原稿にまとめ、口頭発表・質疑応答を行う。 [プレゼンテーション]						○
キーワード		修士学位論文のテーマに沿って決定する			履修条件	なし
教材等	教科書(要事前購入)	教科書は特に指定しない。				
	参考書(任意購入)	指導教員が研究指導の中で随時紹介する。				
成績評価方法(%) [評価のポイント]		修士学位論文の内容及び公聴会における口頭発表・質疑を総合的に評価する。				
授業時間外に必要な学修		指導教員の指示に従って実施する。				
学生へのメッセージ		修士学位論文は本研究科における学修、研究の集大成です。優れた研究は、皆さん自身のキャリアの発展につながるだけでなく、社会にとっても有益なものとなります。皆さんの努力を期待します。				

※ 授業の日程については変更する場合があります。